

7 保健・福祉系施設

保健・福祉系施設は、高齢者や障害者などのための福祉的機能を持つ施設や、健康を増進するための施設などがあります。保健・福祉系施設は民間を含めて様々な設置者が様々な施設を運営していますが、現在市が直接建物を保有しているものを、表 4-7-1 に示します。

表 4-7-1：保健・福祉系施設一覧

施設名称	棟数	建築年	延床面積	地区
健康増進センター（わくわくどーむ）	4	平成 6 年	6,593 m ²	北
特別養護老人ホーム（朝光苑）	2	昭和 61 年	3,799 m ²	南
総合福祉センター（はあとぴあ）	1	平成 12 年	4,524 m ²	北
栄町高齢者地域交流室	(1)	昭和 58 年	124 m ²	南
朝志ヶ丘高齢者地域交流室	(1)	(賃貸)		北
浜崎老人福祉センター	(1)	平成 12 年	964 m ²	北
溝沼老人福祉センター	(1)	平成 16 年	1,127 m ²	南
シルバーサロン（根岸台）	(1)	平成 18 年	50 m ²	東
シルバーサロン（弁財）	(1)	平成 2 年	36 m ²	西
シルバーサロン（膝折）	(1)	平成 21 年	56 m ²	南
保健センター	1	昭和 54 年	1,906 m ²	南

注記：建築年は最も古い棟のものを示しています。

複合施設ではそれぞれの施設部分の床面積を表示しています。

延床面積は、端数処理の都合で合計がほかの表と一致しない場合があります。

棟数の欄が () 書きの施設は、賃貸もしくは他の施設と複合化されています。

○建築年別延床面積

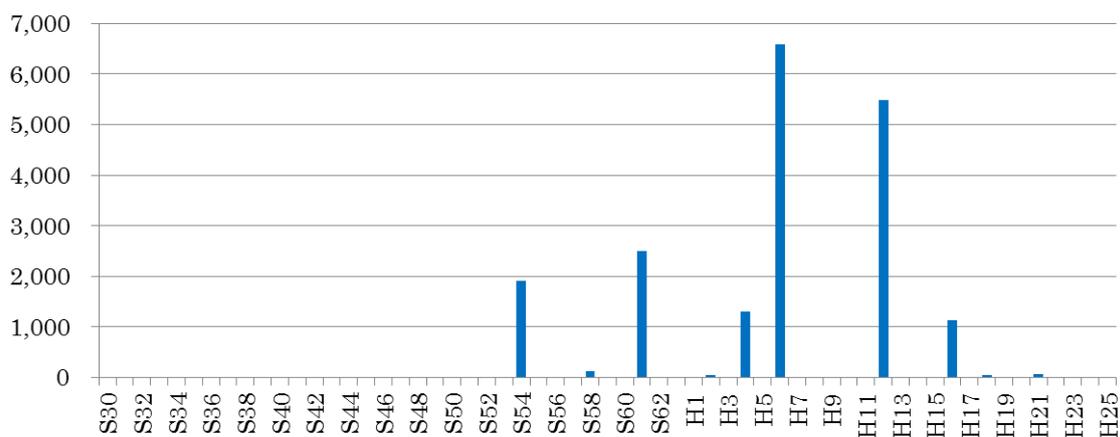


図 4-7-1：保健・福祉系施設 建築年別延床面積 (単位：m²)

保健・福祉系施設は、保健センター以外は新耐震基準の建物です。栄町高齢者地域交流室は、分譲マンションの一室を区分所有する形態となっています。

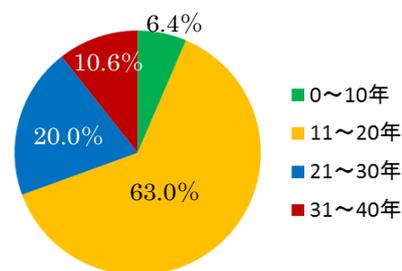


図 4-7-2：保健・福祉系施設 建築年数別床面積割合

○年間利用者数の推移

年間利用者数の近年の推移を図 4-7-3 に示します。老人福祉センターの 2 施設合計と、健康増進センター（わくわくどーむ）はほぼ横ばいで推移しています。特別養護老人ホーム（朝光苑）は各種サービスの利用者合計数を、総合福祉センターは多機能型施設の利用者数を、それぞれ集計しています。いずれの施設とも利用者数は横ばいで推移しています。

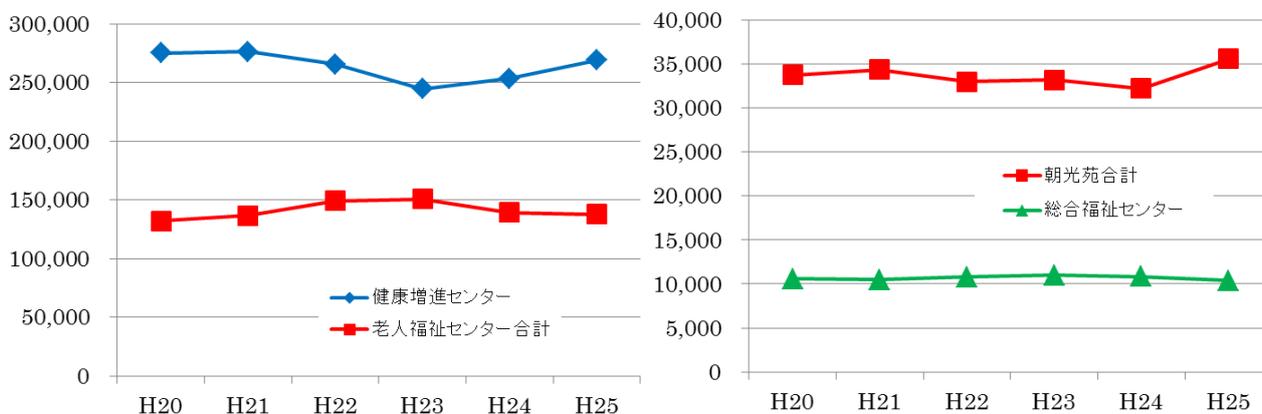


図 4-7-3：保健・福祉系施設 年間利用者数の推移 (単位：人)

○維持費用の比較

施設維持費用の内訳を図 4-7-4 に示します。光熱水費が多くなっていますが、これは健康増進センターが、その事業の性格上、光熱水費を多く要することが理由です。なお、この費用には指定管理料の人件費相当分は含まれていません。

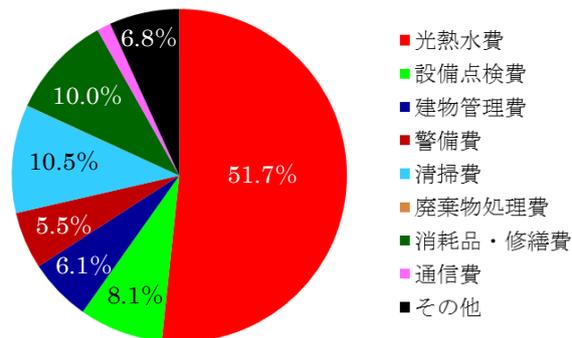


図 4-7-4 : 維持費用の性質別内訳

次に、各施設ごとの維持費用比較を図 4-7-5 に、延床面積 1 m²あたりの維持費用

の比較を図 4-7-6 に、利用者 1 人あたりの維持費用の比較を図 4-7-7 に、それぞれ示します。

維持費用は、市平均より多くなっている施設があります。

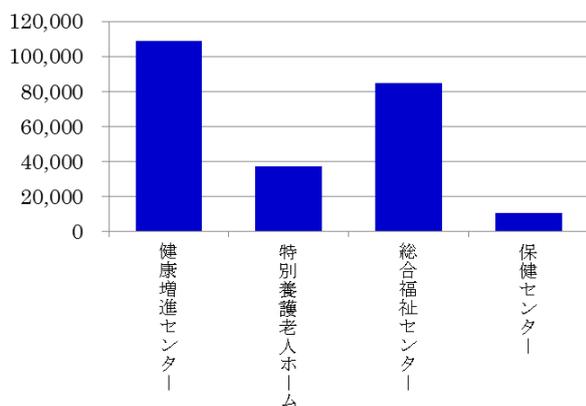


図 4-7-5 : 各施設ごとの維持費用比較
(単位：千円)

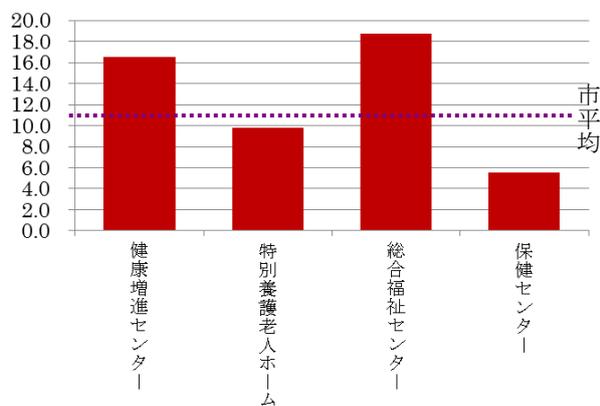


図 4-7-6 : 延床面積 1 m²あたりの維持費用比較
(単位：千円)

○全体の課題

建物については、健康増進センター、特別養護老人ホーム、総合福祉センター、保健センターが主なものになっています。施設の多くが複合化されており、1 室程度の小規模なものも存在するのも特徴です。築年数が 30 年を超えるものは栄町高齢者地域交流室と保健センターのみで、その他は 30 年未満となっています。保健センターについては耐震強度が不足しており、何らかの対策が必要です。

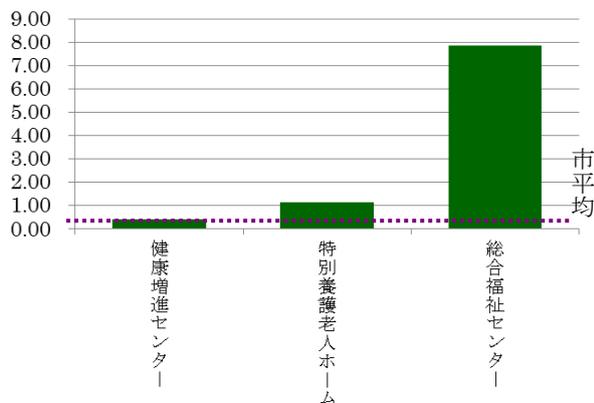


図 4-7-7 : 利用者 1 人あたりの維持費用比較
(単位：千円)

○位置図

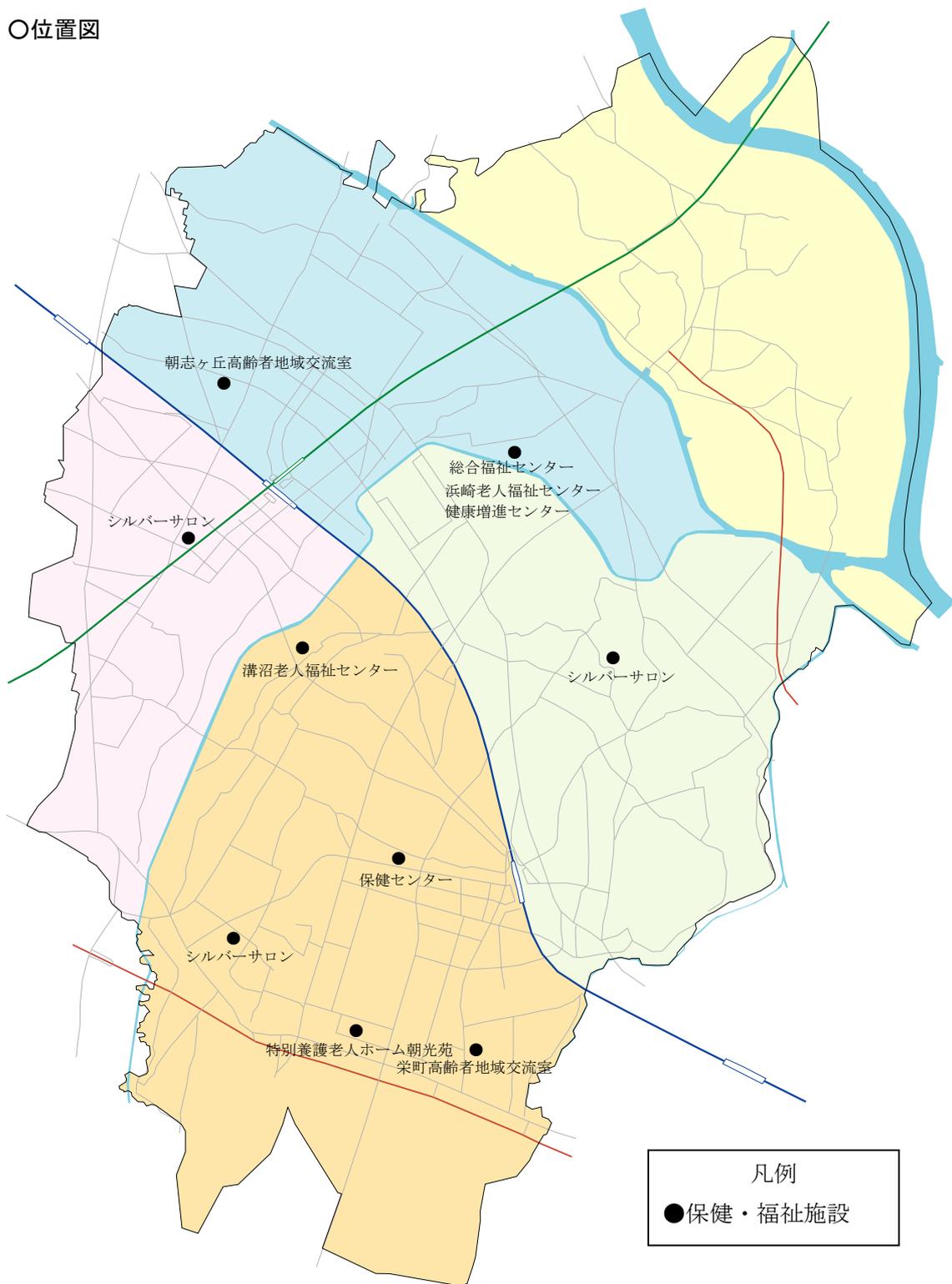


図 4-7-8 : 保健・福祉系施設の位置図

○各施設の現況

健康増進センター（わくわくどーむ）					
所在地	大字浜崎 27				
施設所管課	健康づくり課				
建物	建物概要	鉄骨鉄筋 コンクリート（SRC）造 地上3階、地下1階			
	延床面積	6,593.47 m ²			
	建築年	平成6（1994）年			
	耐震性能	新耐震基準の建物です。			
施設の概要	市民の健康づくりのための施設として単独で設置されています。				
指定管理者	株式会社 明治スポーツプラザ				
設備など	駐車場 236 台、駐輪場、エレベータあり				
主なサービス	温水プール、リフレッシュルーム、トレーニングルームなどの提供				
施設維持費用 （年間）	光熱水費	79,624 千円	設備点検費	8,792 千円	
	建物管理費	1,845 千円	警備費	5,011 千円	
	清掃費	0 千円	廃棄物処理費	0 千円	
	消耗品・修繕費	13,057 千円	通信費	373 千円	
	その他	0 千円	合計	108,702 千円	
主な施設内容	温水プール（競泳プール、流れるプール、ジャグジープール、幼児プール、リハビリプール）				
	リフレッシュルーム（大浴場、高温サウナ、マッサージ機、休憩室）				
	トレーニングルーム、スタジオ（カーディオコーナー、ランニングコース、ウェイトコーナー、ストレッチルーム、スタジオ2室）				

特別養護老人ホーム（朝光苑）				
所在地	青葉台 1-10-32			
施設所管課	長寿はつらつ課			
建物	建物概要	鉄筋コンクリート（RC）造 地上 2～3 階		
	延床面積	3,798.62 m ²		
	建築年	昭和 61（1986）年		
	耐震性能	新耐震基準の建物です。		
施設の概要		市の特別養護老人ホームとして単独で設置されています。平成 4 年に新館が鉄筋コンクリート（RC）造地上 3 階建てで増築されています。		
指定管理者	社会福祉法人 朝霞地区福祉会			
設備など	駐車場 9 台、駐輪場あり、エレベータあり			
主なサービス	特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービス、居宅介護、地域包括の運営など			
施設維持費用 （年間）	光熱水費	13,509 千円	設備点検費	3,657 千円
	建物管理費	0 千円	警備費	4,074 千円
	清掃費	8,820 千円	廃棄物処理費	0 千円
	消耗品・修繕費	4,538 千円	通信費	654 千円
	その他	1,885 千円	合計	37,137 千円
主な施設	居室（各階）		機能回復訓練室（1 階）	
	多目的ホール（1 階）		浴室（1 階）	
改修工事の状況	平成 25 年度に外壁改修工事を実施しました。			



総合福祉センター（はあとぴあ）					
所在地	大字浜崎 51-1				
施設所管課	福祉課				
建物	建物概要	鉄筋コンクリート（RC）造 地上3階、地下1階			
	延床面積	4,524.44 m ² （本施設部分）			
	建築年	平成12（2000）年			
	耐震性能	新耐震基準の建物です。			
施設の概要	<p>市の総合的な福祉の拠点施設として設置されています。</p> <p>施設の中には、はまさき児童館、ホームヘルプステーション、浜崎老人福祉センター、障害者就労支援センター、地域活動支援センター、老人デイサービスセンター、はあとぴあ障害者多機能型施設、ボランティアセンター、はあとぴあ障害者相談支援センター、手話通訳者等派遣事務所等が設置されています。</p>				
指定管理者	社会福祉法人 朝霞市社会福祉協議会				
設備など	駐車場 87 台、駐輪場あり、エレベータあり				
主なサービス	施設（部屋等）貸出、主催事業実施など				
施設維持費用 （年間）	光熱水費	28,096 千円	設備点検費	6,315 千円	
	建物管理費	12,787 千円	警備費	3,902 千円	
	清掃費	12,896 千円	廃棄物処理費	96 千円	
	消耗品・修繕費	4,784 千円	通信費	1,576 千円	
	その他	14,347 千円	合計	84,799 千円	
主な部屋の 利用状況	調理実習室 （2階）	12.0% 804 人	社会適応訓練室（2階）	35.0% 3912 人	
	集会室（2階）	32.0% 3741 人	老人デイルーム（1階）		
	多機能事務室（1階）		図書室（2階）		
	注記：施設貸出対象の部屋は、上段が利用率、下段が年間利用人数です。				

浜崎老人福祉センター（総合福祉センター内に設置）		
所在地	大字浜崎 51-1	
施設所管課	長寿はつらつ課	
建物	建物概要	鉄筋コンクリート（RC）造 地上3階、地下1階
	延床面積	964.16 m ² （本施設部分）
	建築年	平成12（2000）年
	耐震性能	新耐震基準の建物です。
		
施設の概要	北地区の老人福祉センターとして、総合福祉センター内に設置されています。	
指定管理者	社会福祉法人 朝霞市社会福祉協議会	
設備など	駐車場 87 台（総合福祉センターの全体数）、駐輪場、エレベーターあり	
主なサービス	高齢者への健康増進やレクリエーション活動の場の提供	
施設維持費用 （年間）	総合福祉センターに含む	
主な部屋	図書室（2階）	教養娯楽室（2階）
	大広間（2階）	中広間（2階）
	浴場（2階）	

溝沼老人福祉センター（溝沼複合施設内に設置）		
所在地	溝沼 7-13-11	
施設所管課	長寿はつらつ課	
建物	建物概要	鉄筋コンクリート（RC）造 地上3階、地下なし
	延床面積	1,126.97 m ² （本施設部分）
	建築年	平成16（2004）年
	耐震性能	新耐震基準の建物です。
施設の概要	南地区の老人福祉センターとして、溝沼複合施設内に設置されています。	
指定管理者	社会福祉法人 朝霞市社会福祉協議会	
設備など	駐車場13台（溝沼複合施設の全体数）、駐輪場、エレベーターあり	
主なサービス	高齢者への健康増進やレクリエーション活動の場の提供	
施設維持費用 （年間）	みぞぬま児童館（溝沼複合施設）に含む	
主な部屋	図書室（2階）	教養娯楽室（2階）
	大広間（2階）	中広間（2階）
	会議室（2階）	浴場（1階）



保健センター				
所在地		本町 1-7-3		
施設所管課		健康づくり課		
建 物	建物概要	鉄筋コンクリート (RC) 造 地上 3 階、地下 1 階		
	延床面積	1,906.30 m ²		
	建築年	昭和 54 (1979) 年		
	耐震性能	耐震診断の結果、耐震強度が 不足していると判定されました。		
施設の概要		市の保健センターとして単独で設置されています。		
設備など		駐車場 26 台、駐輪場あり		
主なサービス		各種健 (検) 診、相談、教室などの実施		
施設維持費用 (年間)	光熱水費	3,393 千円	設備点検費	756 千円
	建物管理費	0 千円	警備費	378 千円
	清掃費	3,570 千円	廃棄物処理費	0 千円
	消耗品・修繕費	1,712 千円	通信費	646 千円
	その他	75 千円	合 計	10,530 千円
主な部屋	健康づくり課事務室 (1 階)		検診室 1, 2 (1 階)	
	診察室 (1 階)		電算室 (1 階)	
	栄養指導室 (2 階)		保育室 (2 階)	
	健康教室 (2 階)		健康指導室 (2 階)	
	会議室 (2 階)		相談室 (1 階)	

8 行政系施設

行政系施設は、市役所に代表されるように、市民の皆さんの窓口となる施設や、消防団詰所、倉庫などといった市が自ら使うためのものが含まれます。行政系施設の一覧を表4-8-1に示します。

表 4-8-1：行政系施設一覧

施設名称	棟数	建築年	延床面積	地区
市役所	10	昭和 47 年	10,685 m ²	南
内間木支所	1	昭和 55 年	340 m ²	北
朝霞台出張所	(1)	(賃貸)	(327 m ²)	西
朝霞駅前出張所	(1)	(賃貸)	(204 m ²)	東
第一分団	1	平成 20 年	113 m ²	南
第二分団	1	平成 15 年	118 m ²	南
第三分団	1	昭和 62 年	52 m ²	東
第四分団	1	平成 10 年	73 m ²	東
第五分団	1	昭和 30 年	54 m ²	南
第六分団	1	昭和 53 年	80 m ²	南
第七分団 (備蓄倉庫を含む)	1	平成 12 年	162 m ²	北
第八分団	1	平成 6 年	55 m ²	内間木
武道館前倉庫	1	昭和 40 年	185 m ²	南
宮戸四丁目水防倉庫	1	平成 4 年	58 m ²	北
第一小学校内備蓄倉庫	1	平成 8 年	40 m ²	南
第二小学校内備蓄倉庫	1	平成 11 年	50 m ²	東
第四小学校内備蓄倉庫	(1)	平成 22 年	64 m ²	南
第五小学校内備蓄倉庫	(1)	平成 24 年	55 m ²	西
第六小学校内備蓄倉庫	1	平成 9 年	50 m ²	南
第七小学校内備蓄倉庫	(1)	平成 25 年	47 m ²	北
第八小学校内備蓄倉庫	1	平成 16 年	50 m ²	南
第九小学校内備蓄倉庫	1	平成 16 年	50 m ²	東
第十小学校内備蓄倉庫	1	平成 15 年	50 m ²	南
宮戸防災倉庫	1	平成 20 年	98 m ²	北

(表 4-8-1 の注記)

建築年は最も古い棟のものを示しています。

複合施設ではそれぞれの施設部分の床面積を表示しています。

延床面積は、端数処理の都合で合計がほかの表と一致しない場合があります。

棟数の欄が () 書きの施設は、賃貸もしくは他の施設と複合化されています。

○建築年別延床面積

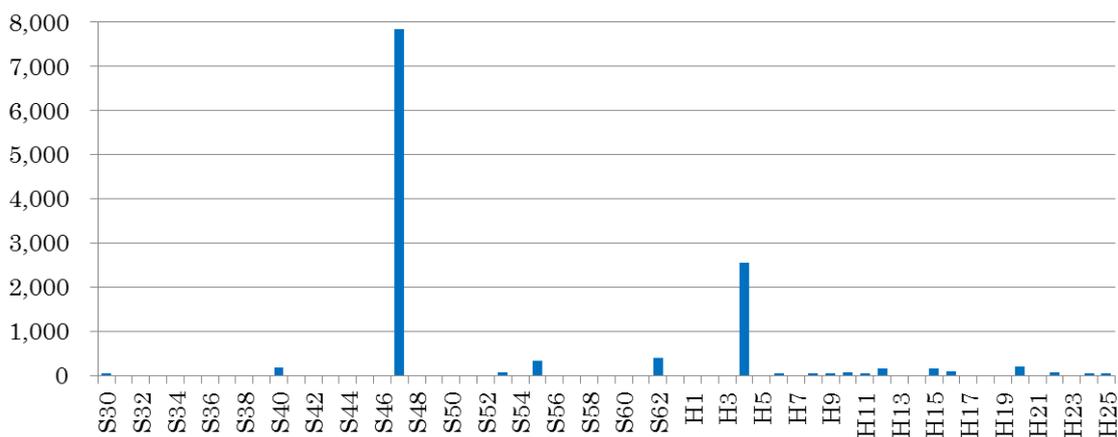


図 4-8-1: 行政系施設 建築年別延床面積 (単位: m²)

行政系施設は、市庁舎が延床面積のほとんどを占めています。築30年を超える延床面積が68.5%に達し、全般に老朽化が大きな問題となっています。市庁舎の本館・議場棟については、耐震強度が不足しており、早急な改修工事が必要です。

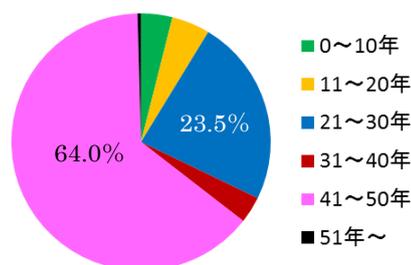


図 4-8-2: 行政系施設 築年数別床面積割合

○維持費用の比較

施設の維持費用の内訳を図 4-8-3 に示します。他の施設に比べて建物管理費が多くなっていますが、これは清掃や設備機器の運転業務も含んだ内容になっているのが理由です。なお、市役所は開庁時間以外には警備員が常駐しています。

施設ごとの維持費用比較を図 4-8-4 に、延床面積 1 m²あたりの維持費用比較を図 4-8-5 に、それぞれ示します。

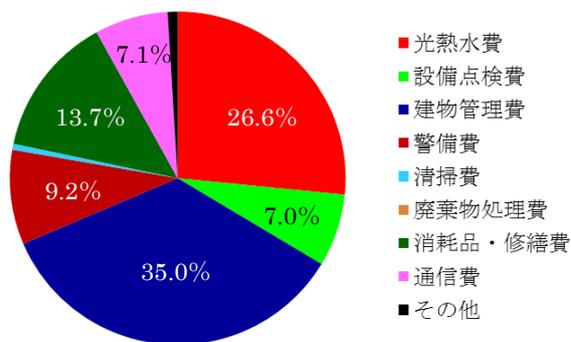


図 4-8-3: 維持費用の性質別内訳

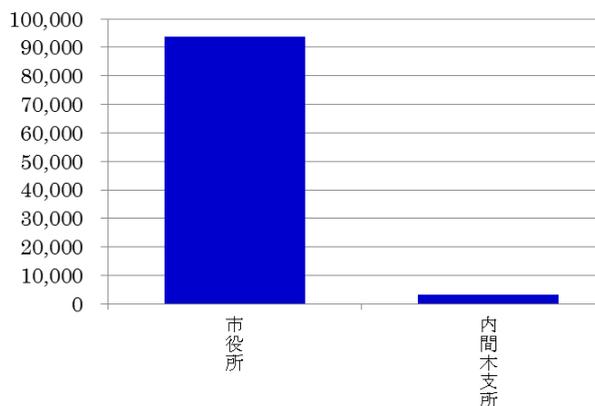


図 4-8-4：施設ごとの維持費用比較
(単位：千円)

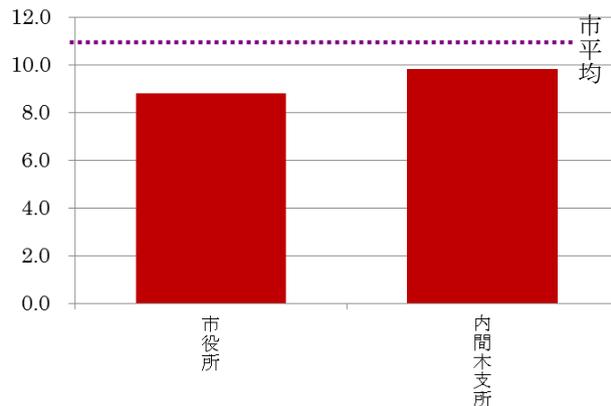


図 4-8-5：延床面積 1㎡あたりの維持費用比較
(単位：千円)

維持費用は、市役所で多くなっていますが、延床面積 1㎡あたりでは市平均以下のレベルに収まっています。

○全体の課題

建物については、老朽化の進行と耐震強度の不足が大きな課題です。特に市役所の本館・議場棟は耐震強度が不足しており、災害時には重要な活動拠点となることから、速やかな耐震改修工事が必要です。なお、市役所については、平成 26 年度から 29 年度にかけて、耐震改修工事を実施する予定です。

市役所での課題として、市民の多くが利用する 1 階を中心に、行政ニーズの増大などにより狭隘化が進んでいます。また、大規模改修工事も実施されておらず、高齢者や障害者も多く訪れる施設であるにもかかわらず洋式トイレが少ないなど、今後も建物を使用していくうえで、長寿命化とニーズの変化への対応を兼ねた改修工事が必要になっています。

○位置図

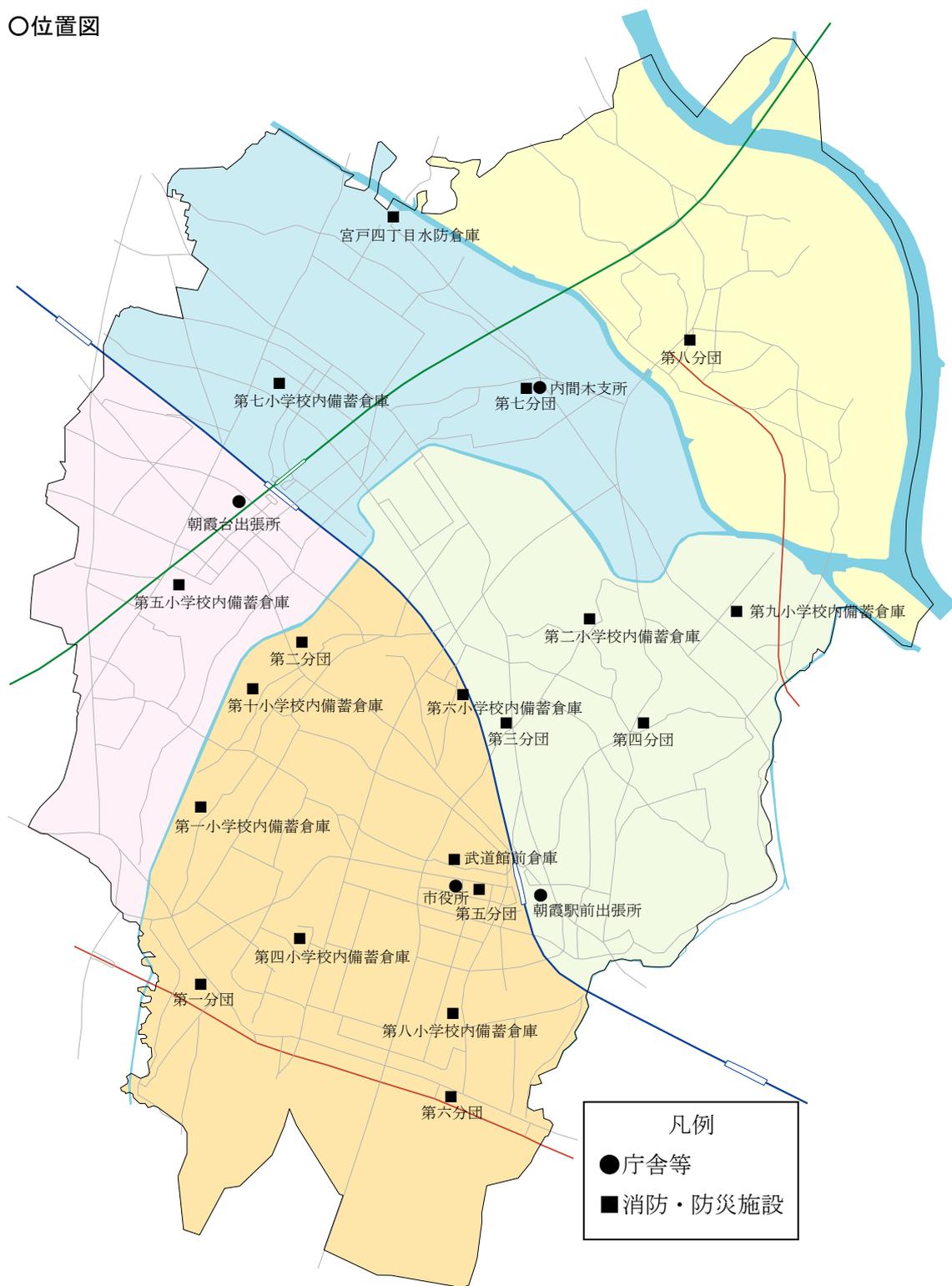


図 4-8-6 : 行政系施設の位置図

○各施設の現況

市役所				
所在地		本町 1-1-1		
施設所管課		財産管理課		
建 物	建物概要	鉄筋コンクリート（RC）造 地上5階、地下1階など		
	延床面積	10,684.81 m ²		
	建築年	昭和47（1972）年		
	耐震性能	耐震診断（H20年度）の結果、 耐震強度が不足していると判 定されました。		
施設の概要		朝霞市役所として単独で設置されています。 本館、別館の他、倉庫や書庫などが設置されています。		
設備など		駐車場 186 台、駐輪場あり		
主なサービス		各種申請、手続きの受付など行政サービス全般		
施設維持費用 （年間）	光熱水費	24,816 千円	設備点検費	6,656 千円
	建物管理費	33,950 千円	警備費	8,697 千円
	清掃費	84 千円	廃棄物処理費	0 千円
	消耗品・修繕費	11,952 千円	通信費	6,718 千円
	その他	924 千円	合計	93,797 千円
主な部屋	事務フロア（各階）		市民ホール（1階）	
	議場（2階）		議員控室（2階）	
	委員会室、全員協議会室（2階）		会議室（3～5階）	
	厚生室（地階）		食堂（地階）	
	更衣室（地階）			

内間木支所				
所在地		大字浜崎 231-1		
施設所管課		内間木支所		
建物	建物概要	鉄筋コンクリート (RC) 造 地上 2 階、地下なし		
	延床面積	339.59 m ²		
	建築年	昭和 55 (1980) 年		
				
施設の概要		市役所支所として単独で設置されています。		
設備など		駐車場 6 台、駐輪場あり		
主なサービス		各種申請、手続きの受付など		
施設維持費用 (年間)	光熱水費	999 千円	設備点検費	179 千円
	建物管理費	0 千円	警備費	215 千円
	清掃費	492 千円	廃棄物処理費	0 千円
	消耗品・修繕費	1309 千円	通信費	146 千円
	その他	0 千円	合計	3340 千円
主な部屋	事務室 (1 階)		会議室 (2 階)	
	休憩室 (2 階)		男女各更衣室 (2 階)	

9 駐車場・駐輪場

主に駅前を中心に、駐車場や駐輪場を設けています。自動車の駐車場もありますが、建物としては自転車、原付の駐車場が該当します。表 4-9-1 に建物を有する駐車場・駐輪場の施設一覧を示します。なお、自転車駐車場は下表のほかにも設置されています。

表 4-9-1：駐車場・駐輪場施設一覧

施設名称	棟数	建築年	延床面積	地区
朝霞台駅南口地下自転車駐車場	1	平成元年	2,190 m ²	西
朝霞台駅南口第1自転車駐車場	1	平成4年	596 m ²	西
北朝霞駅東口地下自転車駐車場	1	平成9年	3,264 m ²	北
朝霞駅東口立体自転車駐車場	1	平成11年	1,252 m ²	東
朝霞駅南口原動機付自転車駐車場	1	平成19年	629 m ²	南
朝霞駅東口地下自転車駐車場	1	平成19年	1,153 m ²	東
朝霞駅南口地下自転車駐車場	1	平成19年	4,851 m ²	南

注記：建築年は最も古い棟のものを示しています。

延床面積は、端数処理の都合で合計がほかの表と一致しない場合があります。

○建築年別延床面積

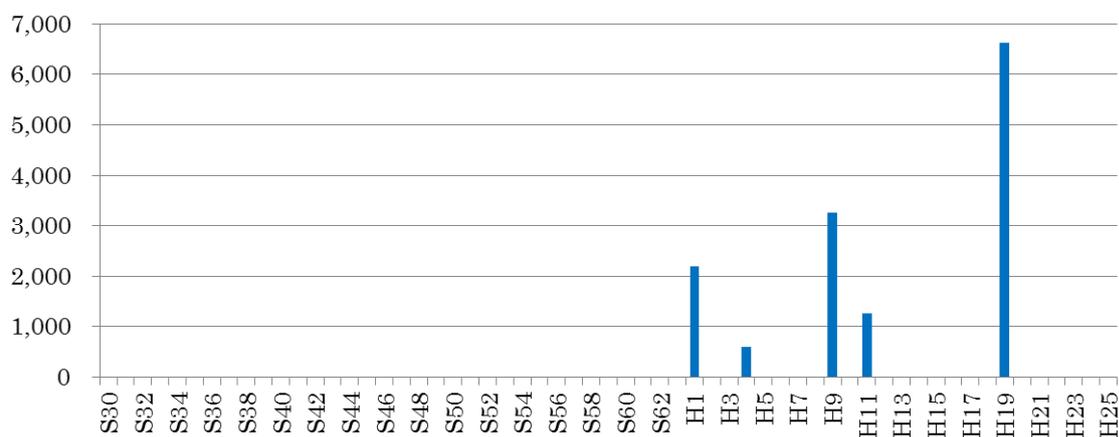


図 4-9-1：駐車場・駐輪場施設 建築年別延床面積 (単位: m²)

駐車場・駐輪場は、駅前広場地下に設けられたものが多く、建築物というよりは土木構造物に近い施設が多数を占めています。整備時期は比較的近年のものが多く、築年数が30年を越えるものはまだありません。

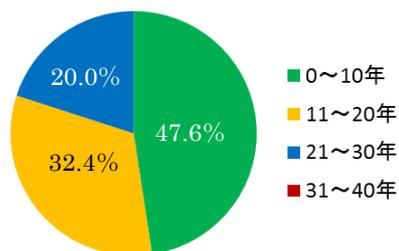


図 4-9-2：駐車場・駐輪場
築年数別床面積割合

○維持費用の比較

施設の維持費用の内訳を図 4-9-3 に示します。夜間警備を実施している関係で、警備費の割合が高くなっているのが他の施設にない特徴です。なお、この費用には指定管理料（指定管理者はすべて公益社団法人朝霞地区シルバー人材センター）は含まれていません。

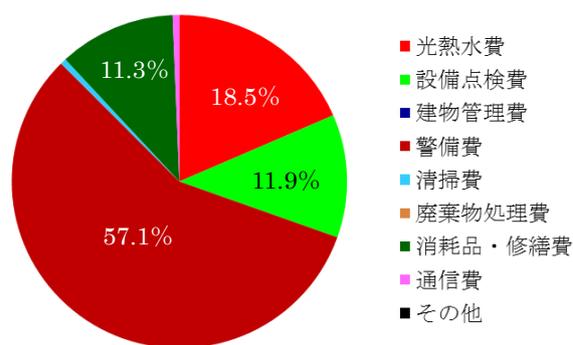


図 4-9-3：維持費用の性質別内訳

各施設ごとの維持費用比較を図 4-9-4 に、延床面積 1 m²あたりの維持費用比較を図 4-9-5 に、それぞれ示します。

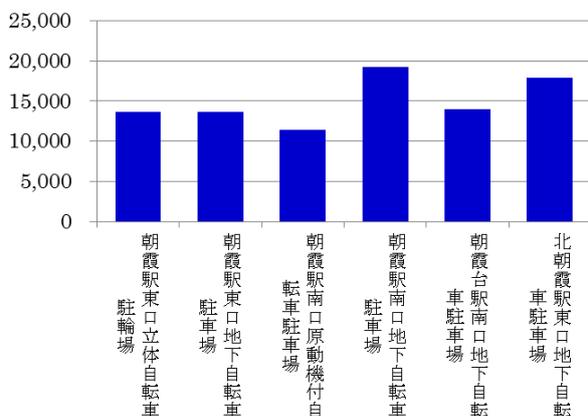


図 4-9-4：各施設ごとの維持費用比較
(単位：千円)

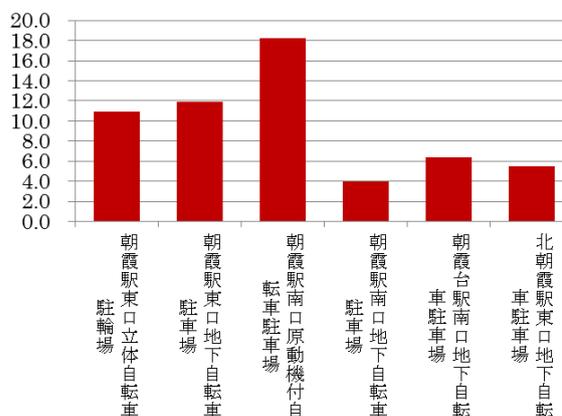


図 4-9-5：延床面積 1 m²あたりの
維持費用比較 (単位：千円)

○全体の課題

前述のとおり、地下に設置された施設が多く、地下構造物としての保守点検が必要です。また、立体自転車駐輪場では多数の昇降機設備があり、点検を定期的に行う必要があります。

○位置図

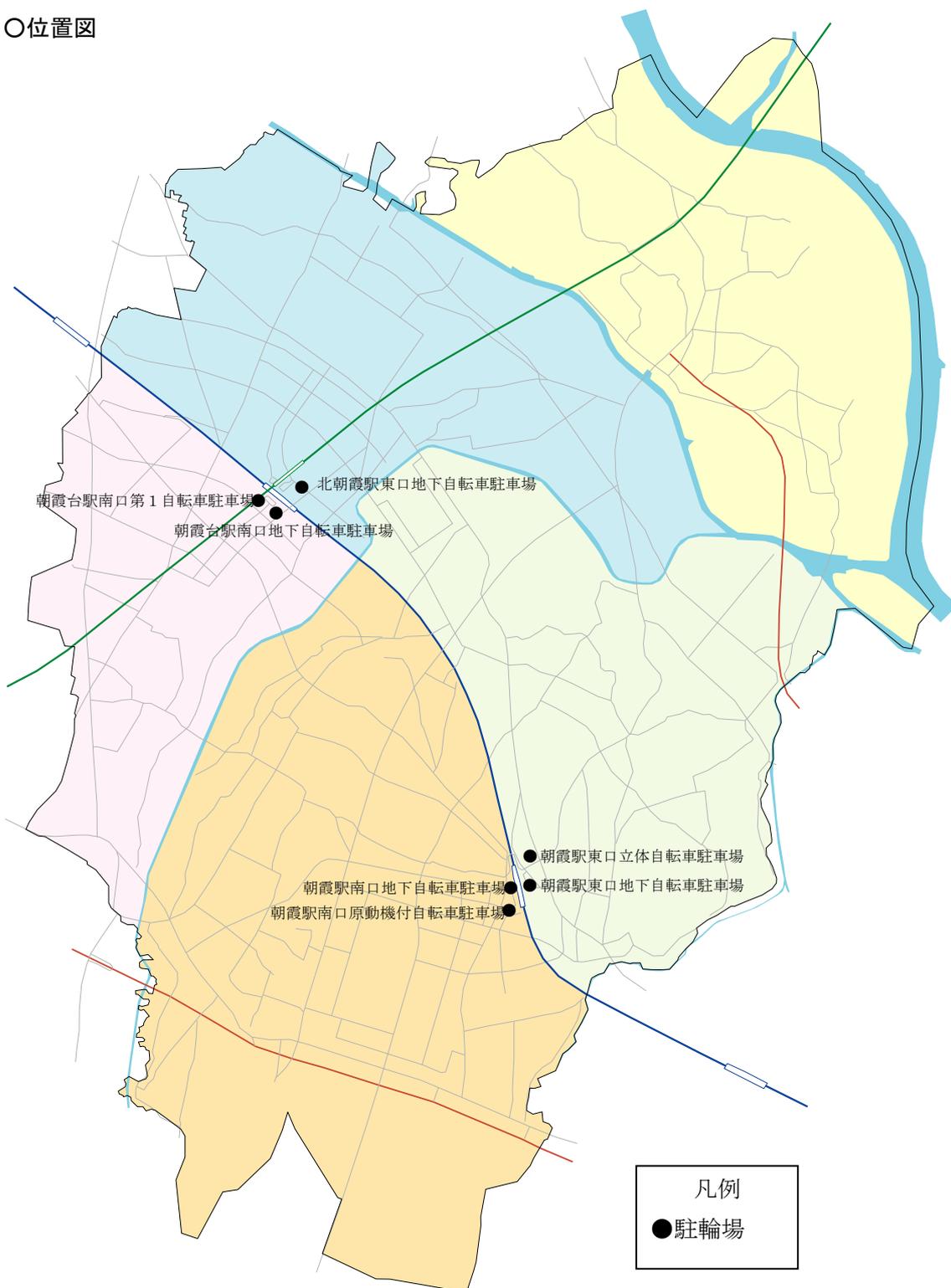


図 4-9-6 : 駐車場・駐輪場の位置図

10 その他の施設

これまでにまとめてきたいずれにも属さない施設として、斎場やリサイクルプラザなどがあります。表 4-10-1 にこれらの施設一覧を示します。なお、女性センターは中央公民館内に設置されています。

表 4-10-1：その他の施設一覧

施設名称	棟数	建築年	延床面積	地区
朝霞市斎場	1	平成 9 年	1,871 m ²	東
リサイクルプラザ	1	平成 12 年	1,286 m ²	北
女性センター（それいゆぷらざ）	(1)	(昭和 59 年)	125 m ²	南
北朝霞駅構内公衆便所	1	平成 4 年	45 m ²	北
朝霞駅南口広場公衆トイレ	1	平成 19 年	52 m ²	南
朝霞駅東口広場公衆トイレ	1	平成 20 年	59 m ²	東

注記：建築年は最も古い棟のものを示しています。

延床面積は、端数処理の都合で合計がほかの表と一致しない場合があります。

棟数の欄が () 書きの施設は、賃貸もしくは他の施設と複合化されています。

女性センターは平成 25 年 1 月開所ですが、建物は昭和 59 年に建築されています。

○利用人数の推移

斎場の年間利用件数の推移を、図 4-10-1 に、リサイクルプラザの年間利用者数を図 4-10-2 に、それぞれ示します。傾向としては、微減傾向にあります。

なお、女性センターは平成 25 年 1 月に開所し、平成 25 年度の年間利用者数は 2,435 人でした。

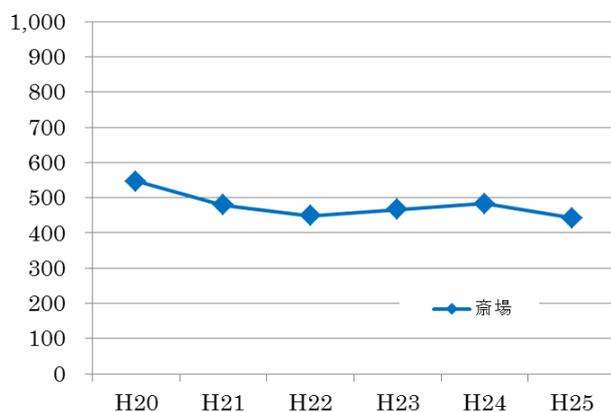


図 4-10-1：斎場年間利用件数の推移
(単位：件)

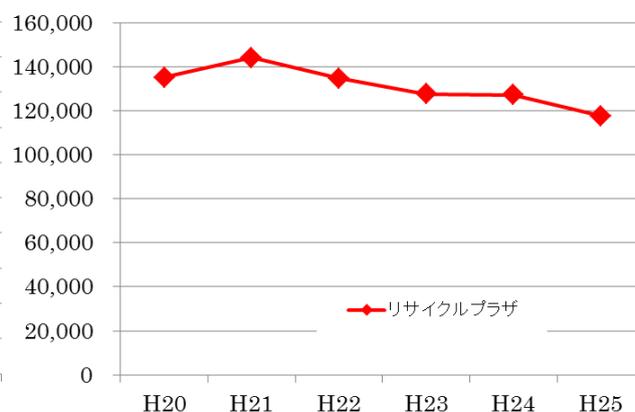


図 4-10-2：リサイクルプラザ年間利用者数の推移
(単位：人)

○維持費用

施設の維持費用の内訳を図 4-10-2 に示します。光熱水費の割合が低めである点などが特徴です。

各施設ごとの維持費用比較を図 4-10-3 に、延床面積 1 m²あたりの維持費用比較を図 4-10-4 に、それぞれ示します。

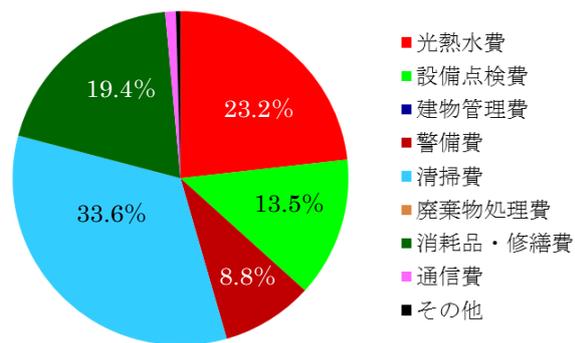


図 4-10-2 : 維持費用の性質別内訳

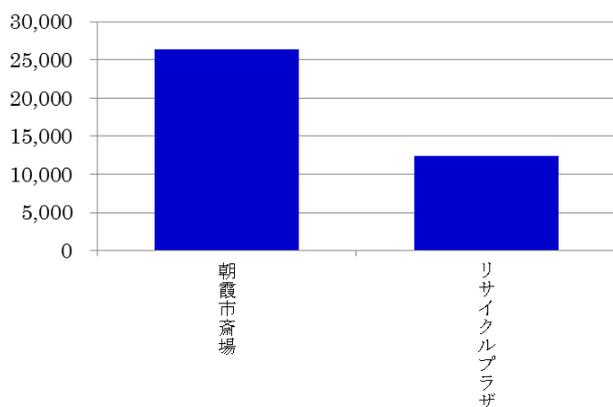


図 4-10-3 : 施設ごとの維持費用比較
(単位：千円)

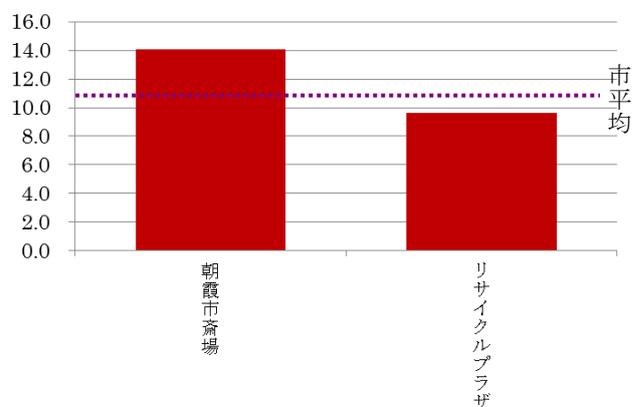


図 4-10-4 : 延床面積 1 m²あたりの維持費用比較 (単位：千円)

○位置図

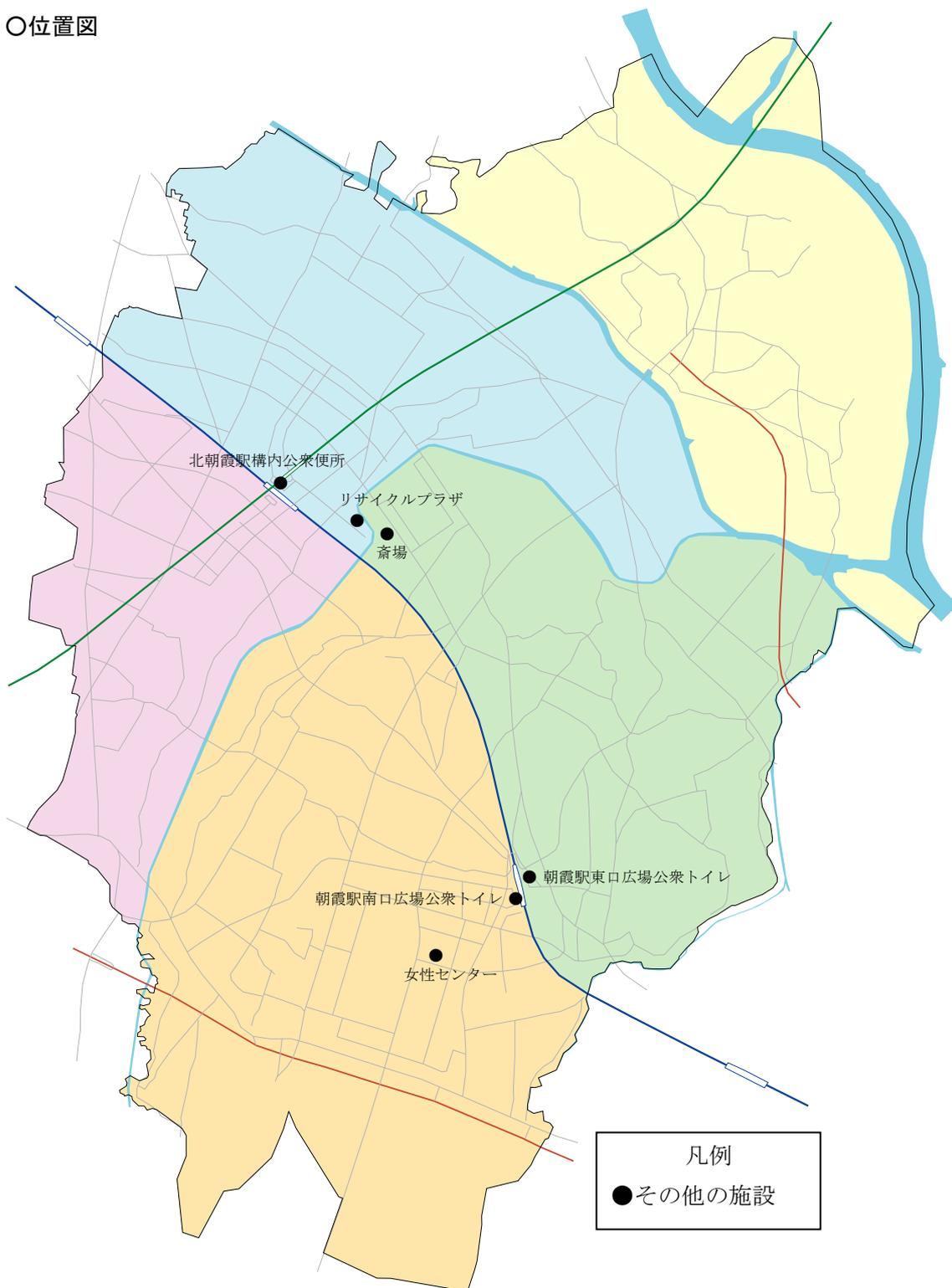


図 4-10-5 : その他の施設の位置図

○各施設の現況

朝霞市斎場				
所在地		大字溝沼 1259-1		
施設所管課		地域づくり支援課		
建 物	建物概要	鉄筋コンクリート（RC）造 地上3階、地下なし		
	延床面積	1,870.89 m ²		
	建築年	平成9（1997）年		
	耐震性能	新耐震基準の建物です。		
施設の概要		市の斎場として単独で設置されています。		
指定管理者		公益財団法人 朝霞市文化・スポーツ振興公社		
設備など		駐車場 86 台、駐輪場あり、エレベータあり		
主なサービス		葬儀の執り行い		
施設維持費用 (年間)	光熱水費	6,266 千円	設備点検費	3,025 千円
	建物管理費	0 千円	警備費	3,123 千円
	清掃費	8,429 千円	廃棄物処理費	0 千円
	消耗品・修繕費	5,148 千円	通信費	204 千円
	その他	172 千円	合計	26,367 千円
主な部屋の 利用状況	第一式場 (1階)	74.0%	第二式場 (1階)	88.0%
	安置室(1階)	21.0%	第一控室(1階)	74.0%
	第二控室(1階)	88.0%	けやき(2階)	48.0%
	いちょう(2階)	33.0%	ふじ(2階)	27.0%
	きく(3階)	38.0%	ゆり(3階)	13.0%
	ききょう(3階)	31.0%	事務所(1階)	
注記：施設貸出対象の部屋は、右方が利用率です。				

リサイクルプラザ				
所在地		大字浜崎 664-2		
施設所管課		資源リサイクル課		
建 物	建物概要	鉄筋コンクリート（RC）造 地上3階、地下なし		
	延床面積	1,285.53 m ²		
	建築年	平成12（2000）年		
	耐震性能	新耐震基準の建物です。		
施設の概要		ごみ問題の意識啓発などを推進するための情報拠点として単独で設置されています。		
設備など		駐車場10台、駐輪場あり		
主なサービス		リサイクルに係る情報提供や事業などの実施		
施設維持費用 （年間）	光熱水費	2,732 千円	設備点検費	2,208 千円
	建物管理費	0 千円	警備費	300 千円
	清掃費	4,578 千円	廃棄物処理費	0 千円
	消耗品・修繕費	2,378 千円	通信費	194 千円
	その他	0 千円	合計	12,390 千円
主な部屋	リサイクルショップ（1階）		シルバー工房（1階）	
	リフォーム工房（3階）		リサイクル工房（3階）	
	活動室（3階）		事務室（1階）	

女性センター（それいゆぷらざ）（中央公民館内に設置）		
所在地	青葉台 1-7-1	
施設所管課	人権庶務課	
建 物	建物概要	鉄骨鉄筋 コンクリート（SRC）造 地上 3 階、地下 1 階
	延床面積	124.80 m ² （本施設部分）
	建築年	昭和 59（1984）年 開設は平成 25（2013）年
	耐震性能	新耐震基準の建物です。
施設の概要	男女平等を推進するための拠点として中央公民館内に設置されています。	
設備など	駐車場 43 台（中央公民館全体の数）、駐輪場、エレベータあり	
主なサービス	男女平等に関する情報提供や相談などの実施	
施設維持費用 （年間）	中央公民館に含む	
主な部屋	情報・交流コーナー（1 階）	相談室（1 階）



1 1 用途廃止された施設

耐震強度が不足しているなど、種々の理由で用途廃止されたものが現在3施設あります。これらの施設の一覧を表4-11-1に示します。

表4-11-1：用途廃止された施設一覧

施設名称	棟数	建築年	延床面積	地区
旧憩いの湯（湯〜ぐうじょう）	2	平成9年	2,532 m ²	内間木
旧猪苗代湖自然の家	2	昭和41年	1,923 m ²	—
旧朝霞第四小学校	12	昭和39年	8,104 m ²	南

注記：建築年は最も古い棟のものを示しています。

延床面積は、端数処理の都合で合計がほかの表と一致しない場合があります。

旧猪苗代湖自然の家は、福島県会津若松市にあります。

○建築年別延床面積

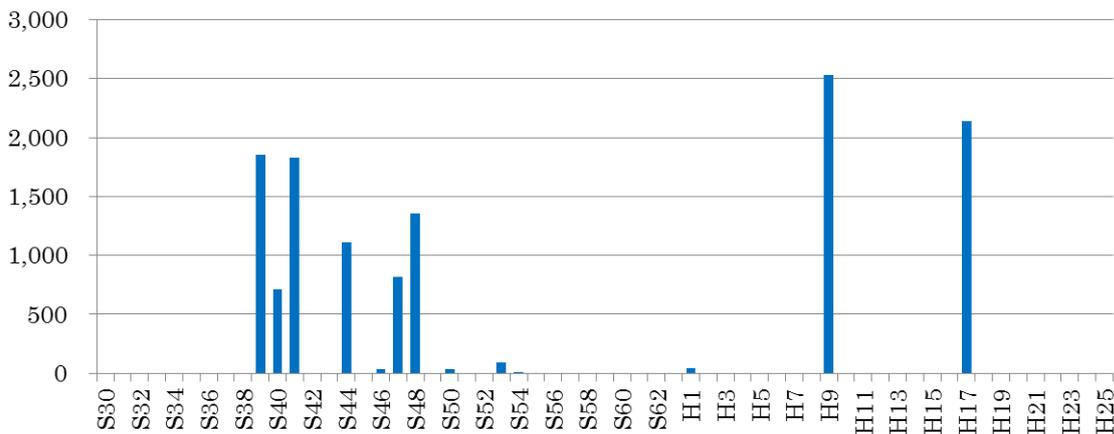


図4-11-1：用途廃止された施設 建築年別延床面積 (単位：m²)

用途廃止された施設は、その多くが築年数40年以上の建物になっています。築年数20年未満の建物は、旧憩いの湯と旧朝霞第四小学校の仮設校舎が該当し、それぞれ約2割を占めています。

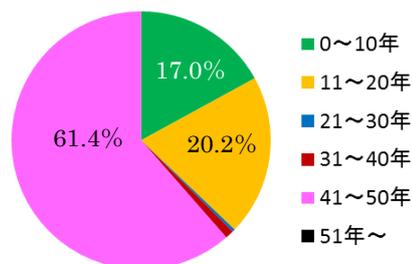


図4-11-2：用途廃止された施設 築年数別床面積割合

○用途廃止に至った経緯

①旧憩いの湯

憩いの湯は平成9年にしゅん工し、クリーンセンターの余熱を利用した温浴施設として多くの市民に利用されてきました。

しかし、平成17年に地盤の不等沈下が原因と推測される浴場からの大量の漏水が判明し、平成18年4月に営業を中止しました。平成17年の「憩いの湯施設改修等調査検討委員会」、平成18年の「憩いの湯施設改修等調査検討委員会」などにより、種々の側面から検討が行われた結果、修繕費用が多額にのぼることや、近隣に民営の類似施設が増えてきたことなどから、公共温浴施設としての役割は終わったものと判断されました。

その後、建物の有効活用策が模索されましたが、平成25年10月に、既存の建物を解体し、土地の活用を図っていくべきとの方向性が示されました。現在では、除草や敷地内清掃などの最低限の管理のみ行っています。

②旧猪苗代湖自然の家

猪苗代湖自然の家は、昭和53年に開所し、市内小中学校の林間学校としての利用や、市民の保養やレクリエーションの拠点として多くの方に利用されてきました。

しかし、平成21年度に耐震診断を実施したところ、耐震強度が不足しているとの判定が出され、施設の利用が中止されました。特に本館3階のスラブ（構造床）は危険な状態にあり、構造がやや特殊であることもあって、耐震補強工事、建替えのいずれの案でも7億円前後が必要になるとの試算結果が出されました。平成22年に、「朝霞市立猪苗代湖自然の家に関する検討委員会」で種々の側面から検討が行われ、廃止もやむなしとの結論に至りました。

敷地や建物を地元自治体等で活用していただけないか調整を試みているところですが、現時点で結論は出ていません。現在は除草や雪庇除去など、敷地内外の安全を維持する最低限の管理のみ行っています。

③旧朝霞第四小学校

朝霞第四小学校は昭和33年に設置され、多くの児童が学んできました。

平成14年度に実施した耐震診断の結果、耐震強度が不足しているとの判定が出されました。さらに、通学区域が隣接している第一小学校、第六小学校の児童数が増加し、過大規模の解消を図る必要も生じました。これに伴う通学区域の変更も併せて考慮し、旧朝霞第一中学校跡地（現在の朝霞第四小学校の場所）に移転新築することになりました。

新校舎は平成22年から使用開始されましたが、それまでの間、耐震強度が不足した状態で学校を運営することは危険が伴うため、平成17年に仮設校舎を旧敷地内に建設し、対応しました。

旧校舎は耐震強度が不足していることから完全閉鎖とし、仮設校舎とグラウンドについ

では、活用方針が決まるまでの間、市民に開放されてきました。しかし、管理費用削減のため、仮設校舎については平成 25 年度までで利用を休止し、現在はグラウンドのみ開放しています。敷地の活用策については種々検討がなされていますが、現時点で結論は出ていません。

○維持費用の比較

用途廃止した施設の維持費用の内訳を図 4-11-3 に示します。現在は施設を閉鎖していても、除草や最低限の警備、ライフラインなどで少なからず維持費用を要しているのが実態です。ただし、維持費用の削減に向けて、管理内容などの見直しを行っています。

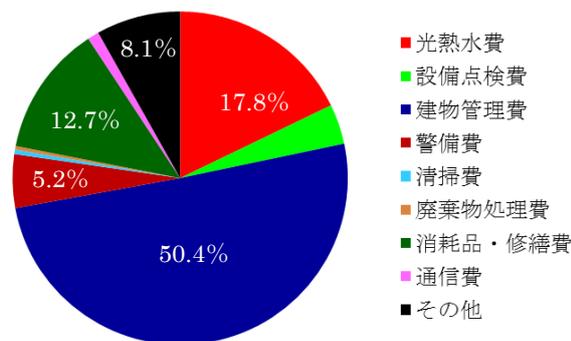


図 4-11-3：維持費用の性質別内訳

各施設ごとの維持費用比較を図

4-11-4 に、延床面積 1 m²あたりの維持費用比較を図 4-11-5 に、それぞれ示します。

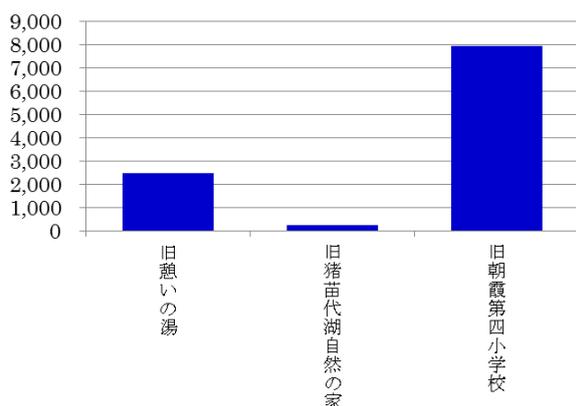


図 4-11-4：各施設ごとの維持費用比較
(単位：千円)

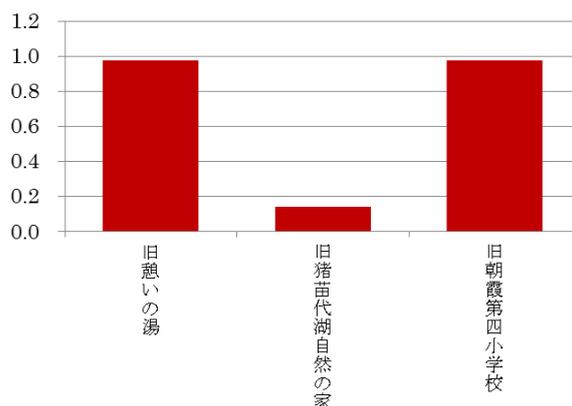


図 4-11-5：延床面積 1 m²あたりの維持費用比較
(単位：千円)

旧朝霞第四小学校が相対的に高く見えますが、延床面積 1 m²あたりの維持費用は、市平均の 11.0 千円にくらべて 1/10 程度の水準になっています。

○全体の課題

用途廃止した 3 施設に共通する方向性として、建物を解体して土地だけにすれば、流動性が一気に高まり、取扱いを決めやすくなります。しかし、建物の解体には多額の費用が必要であることから、実現には至っていません。

○位置図

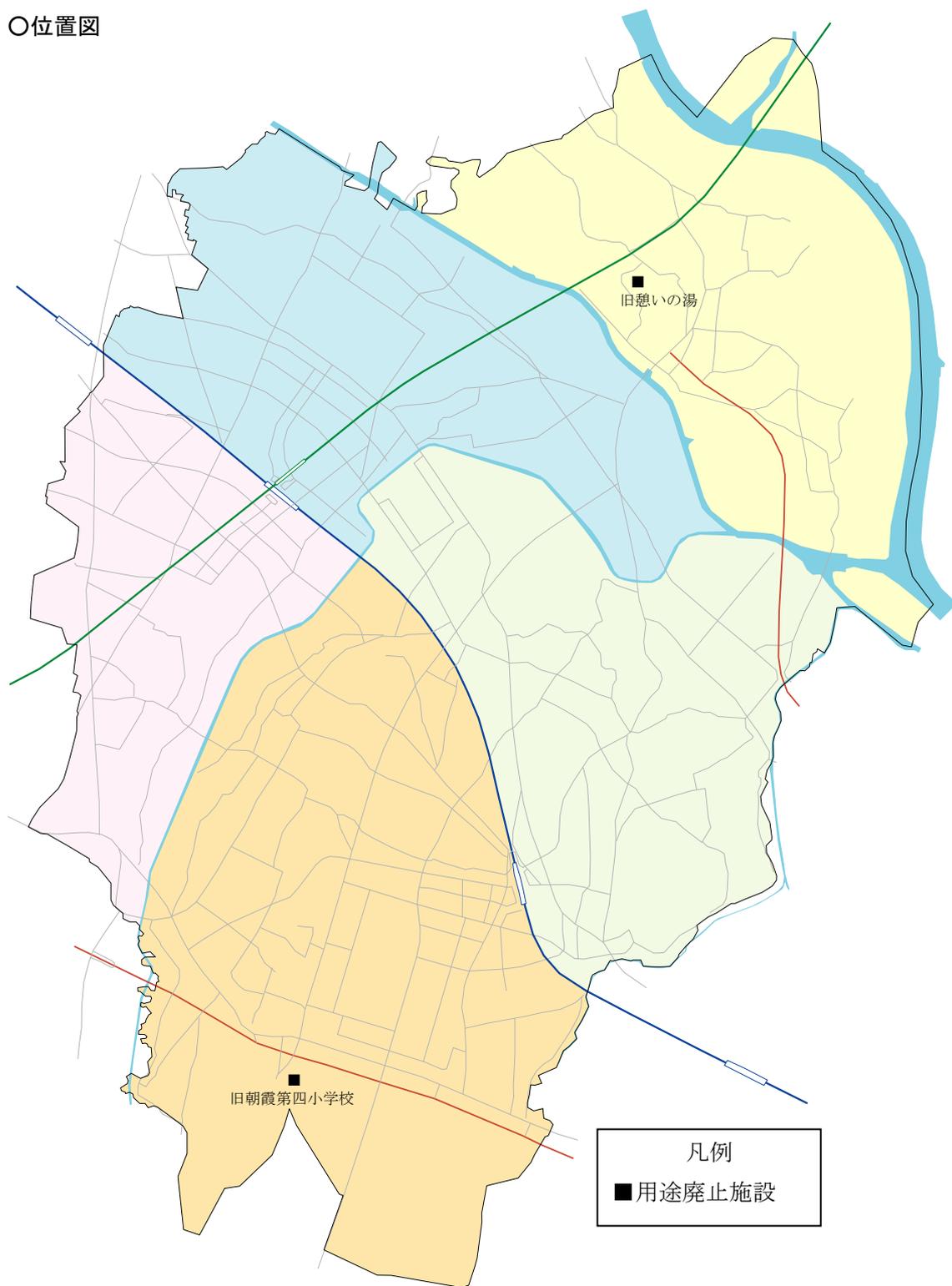


図 4-11-6 : 用途廃止された施設の位置図
(旧猪苗代湖自然の家をのぞく)

○各施設の現況

旧憩いの湯				
所在地		大字上内間木 518-3		
施設所管課		財産管理課		
建物	建物概要	鉄骨鉄筋 コンクリート（SRC）造 地上2階、地下なし		
	延床面積	2,531.97 m ²		
	建築年	平成9（1997）年		
	耐震性能	新耐震基準の建物です。		
施設の概要		市の温泉娯楽施設として活用されてきました。平成18年に営業中止、平成25年に施設の用途を廃止し、普通財産になりました。		
設備など		駐車場74台、駐輪場あり、エレベータあり（いずれも使用不可）		
主なサービス		現在サービスの提供なし		
施設維持費用 (年間)	光熱水費	806千円	設備点検費	165千円
	建物管理費	0千円	警備費	479千円
	清掃費	46千円	廃棄物処理費	0千円
	消耗品・修繕費	900千円	通信費	74千円
	その他	0千円	合計	2,470千円
主な施設	大浴場（1階）		更衣室（1階）	
	サウナ（1階）		大広間（2階）	
	中広間（2階）		カラオケルーム（2階）	
	和室（2階）			

旧猪苗代湖自然の家					
所在地	福島県会津若松市湊町 大字赤井字戸ノ口 53				
施設所管課	財産管理課				
建物	建物概要	鉄筋コンクリート (RC) 造 地上 3 階、地下なし			
	延床面積	1,922.82 m ²			
	建築年	昭和 41 (1966) 年			
	耐震性能	耐震診断 (平成 21 年度) の結果、耐震強度不足と判定されました。			
施設の概要	市民の保養やレクリエーションの拠点として活用されてきました。平成 22 年に営業中止、平成 23 年に施設の用途を廃止し、普通財産になりました。				
設備など	駐車場あり (現在は使用不可)				
主なサービス	現在サービスの提供なし				
施設維持費用 (年間)	光熱水費	0 千円	設備点検費	0 千円	
	建物管理費	0 千円	警備費	0 千円	
	清掃費	0 千円	廃棄物処理費	0 千円	
	消耗品・修繕費	0 千円	通信費	0 千円	
	その他	279 千円	合計	279 千円	
主な部屋	食堂 (1 階)		会議室 (1 階)		
	事務室 (1 階)		男風呂、女風呂 (1 階)		
	ミーティングルーム (2、3 階)		和室 (2、3 階)		
	大広間 (3 階)		ホール (3 階)		

旧朝霞第四小学校					
所在地		幸町 3-14-65			
施設所管課		財産管理課 地域づくり支援課			
建 物	建物概要	鉄筋コンクリート (RC) 造 地上 3 階など			
	延床面積	8,104.33 m ²			
	建築年	平成 17 (2005) 年			
	耐震性能	旧校舎は耐震診断の結果、耐震強度不足と判定されました。仮設校舎は鉄骨 (S) 造 2 階で、新耐震基準の建物です。			
施設の概要		新築移転に伴い平成 22 年に用途を廃止しました。その後、仮設校舎の貸出しを行っていましたが、平成 26 年に休止しました。			
設備など		駐車場、駐輪場あり、エレベータあり (いずれも使用不可)			
主なサービス		グラウンドの貸し出し			
施設維持費用 (年間)		光熱水費	1,094 千円	設備点検費	249 千円
		建物管理費	5,379 千円	警備費	76 千円
		清掃費	0 千円	廃棄物処理費	37 千円
		消耗品・修繕費	453 千円	通信費	44 千円
		その他	588 千円	合計	7,920 千円
主な建物の延床 面積と建築年度		普通教室棟	1,856.00 m ²	昭和 39 (1964) 年	
		普通教室棟	709.00 m ²	昭和 40 (1965) 年	
		特別普通教室棟	1,112.00 m ²	昭和 44 (1969) 年	
		体育館	816.00 m ²	昭和 47 (1972) 年	
		管理棟	1,143.00 m ²	昭和 48 (1973) 年	
		昇降口	214.00 m ²	昭和 48 (1973) 年	
		仮設校舎	2,136.33 m ²	平成 17 (2005) 年	

